

# 履修証明プログラム(学校福祉) 2020 募集要項

## ■ 講座概要

1) 教育目標および講義を通じて得られるもの

【履修証明プログラム(学校福祉) 2020 シラバス】

科目名	履修証明プログラム(学校福祉)
担当教員	山本敏郎 (日本福祉大学 教育・心理学部* 教授) 鈴木庸裕 (日本福祉大学 教育・心理学部* 教授) *2020年4月学部名称変更(予定)
テーマ	学校福祉にかかわる理論と方法 『子どもの生きづらさにアプローチする多職種連携をどう進めるか』
科目のねらい	<p>〈キーワード〉 学校福祉、多職種連携、子どもの権利、子どもの生きづらさ</p> <p>〈内容の要約〉 貧困、虐待、不登校、いじめ、暴力、発達障害をはじめとする子どもたちの生きづらさに、教育職、心理職、福祉職が協働してアプローチするために必要な基礎的な知識とスキルを習得する。具体的には、学校福祉の思想、学校改革の現在、子どもを支える法と制度、学校・医療・心理臨床の連携、子どもとともに生きる人びと、多職種連携をどう進めるか、学校福祉援助をどう進めるか等にかかわる理論を学び、子ども支援の方法、実践記録の書き方及び分析方法等で構成する</p> <p>〈学習目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校福祉にかかわる基礎的な理論を習得することができる</li> <li>2. 教育・心理・福祉の連携の必要性や連携の在り方について理解することができる</li> <li>3. 子どもたちの生活を支える法・制度・諸機関・専門職とそのネットワークについて説明できる</li> <li>4. 子どもたちがかかえる生きづらさにたいする教育・心理・福祉それぞれのアプローチ方法について理解するとともに、教育職・心理職・福祉職が協働的にアプローチするための実践的なスキルを身につけることができる</li> </ol>
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校福祉というコンセプト (6時間) *1~3講</li> <li>② 学校改革の現在と教育観・学校観・子ども観の転換 (6時間) [実務家2時間] *4~6講</li> <li>③ 子どもの生活を支える法と制度 (6時間) [実務家教員・実務家4時間] *7~9講</li> </ol>

	④ 発達障害をめぐる学校と医療と心理臨床の連携（6時間）[実務家教員・実務家4時間]*10～12講 ⑤ 子どもとともに生きる専門職のしごと（6時間）[実務家教員・実務家6時間]*13～15講 ⑥ 学校福祉のための多職種連携（6時間）[実務家2時間]*16講から18講 ⑦ 学校福祉のための相談援助方法（6時間）[ワークショップ・グループワーク6時間]*19～21講 ⑧ 教育実践記録を書く・読む・分析する（6時間）[ワークショップ・グループワーク6時間]*22～24講 ⑨ 実践記録の共同分析（4時間）[ワークショップ・グループワーク2時間]*25・26講 ⑩ 子どもの権利条約の意義と課題（2時間）*27講 ⑪ 実践研究報告（4時間）[ワークショップ・グループワーク4時間]*28・29講 ⑫ まとめ、学校福祉専門職のしごと（2時間）[ワークショップ・グループワーク2時間]*30講 ⑬ 修了試験
時間数	講義 40.0 時間、演習 20.0 時間、合計 60.0 時間 ※予備講義 6.0 時間、修了試験 2.0 時間
受講にあたっての注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問や意見を積極的に述べて授業に積極的に参加すること</li> <li>・多職種連携を理解するため他職種のしごとへのリスペクトを忘れないこと</li> <li>・参考文献を読み、授業内容を深く理解するよう努めること</li> </ul>
テキスト	指定なし
参考文献	授業内で別途指示する
成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全講座を受講し、実践研究報告会で報告すること</li> <li>・修了試験（学校福祉にかかわる論述）を受験し、合格すること</li> <li>・実践研究報告会での報告と修了試験を合わせて合否を判定する</li> </ul> <b>【評価区分】</b> S:90 点以上、A:80～89 点、B:70～79 点、C:60～69 点、D:60 点未満とし、C 判定以上を合格とする
その他	日本福祉大学の履修証明書（学校福祉）を発行する

## 2) 受講対象者

学校の教員、教職経験者、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、教育相談、放課後児童支援、学童保育指導、特別支援教育などの専門職の方  
 社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童福祉施設、行政などの職員の方  
 本プログラムに興味がある全ての方

すでに学校等で教師、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等で働いている人にとっては、相互に他職の専門性を理解し連携する手がかりを得るとともに、学校と関わっている人たちには、教育・心理・福祉にかかわる基礎的な理論と実践的なスキルを得る機会とする

3) 受講料：一般 48,000 円 / 本学園関係者 (卒業生等) 43,000 円 ※税込金額です

4) 募集人員：50 名 (最小開講人数：10 名)

5) 開講期間

【前期】2020 年 5 月 30 日～ 9 月 5 日 (計 6 日間)

【後期】2020 年 9 月 19 日～ 11 月 14 日 (計 4 日間) / 補講日 11 月 21 日

【修了試験】2020 年 11 月 28 日 10:00～12:00 (予定)

※すべて土曜日の開講です / 詳細は別途「講義スケジュール」参照

6) 開講場所

日本福祉大学 東海キャンパス (愛知県東海市大田町川南新田 229 番地)

※名鉄「太田川駅」より徒歩 5 分 / 駐車場のご用意はありません。公共交通機関をご利用願います

7) 修了要件

- ・全講座を受講し、実践研究報告会で報告すること
  - ・修了試験 (学校福祉にかかわる論述) を受験し、合格すること
- ※修了試験結果に実践研究報告会での報告内容を加味し、合否を判定する。  
合格は C 判定以上とする

【評価区分】S：90 点以上、A：80～89 点、B：70～79 点、C：60～69 点、D：60 点未満

8) 修了証

修了要件を満たした方には、学校教育法に基づく履修証明制度により、日本福祉大学から「履修証明書 (学校福祉)」を授与します

※2020 年度については日本福祉大学による単位認定はありません

9) 出欠席管理について

- ・会場に着いたら、出席管理のため受講票を必ず受付に提出ください
- ・各講座の遅刻・早退は 30 分未満とし、それを超える場合は 1 講分 (2 時間) の欠席と見なします
- ・4 講以上欠席した場合、履修証明書は発行されません

※欠席が 4 講未満の場合で、履修証明書の発行を希望する場合について

1～12 講まで講義 (5/30～7/18)	ビデオ視聴やレポート課題での振替対応を <u>可</u> とする (一部内容により不可な講義もあります)
13 講以降の講義 (7/25～)	ビデオ視聴やレポート課題での振替対応 <u>不可</u> <u>11/21 の補講日への参加が必須となります</u>

10) その他

- ・修了要件をみだし、履修証明書を受け取った方で、紛失などにより履修証明書の再発行を希望する場合は、社会福祉総合研修センターまでご連絡ください  
また、再発行手数料 2,000 円 (税込) が必要となります

## ■受講申込みについて

### 1) 受講資格

主に社会人の方を対象とし、大学入学資格を有する方

※高等学校卒業またはこれと同等（高等学校卒業程度認定試験合格）

### 2) 申込方法

下記の書類一式を角型第2号封筒に入れ、郵送してください

郵送の際は封筒の表面に「書類在中」と朱記してください。また、封筒の裏面には申込者の住所・氏名を記載してください。

### 3) 提出書類

① 受講申込書（所定の書式） 1通

② 最終出身学校の卒業証明書または卒業見込証明書の原本 1通

※【②について】取寄せに時間がかかりますので、早めの準備をおすすめいたします。

証明書が旧姓で記載されている場合は、①の申込書の旧姓名欄に必ず記載ください

### 4) 書類送付先

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

社会福祉総合研修センター内 「履修証明」係宛

### 5) 書類受付期間

2020年4月6日(月)～2020年5月8日(金) (当日消印有効)

※これを過ぎた消印のものは受理せず、郵送された申込書などは返送しません

### 6) 選考料：無料

### 7) 選考方法

申請書類に基づき選考します

(応募者多数の場合、本プログラムの受講が業務上必要な方を優先して選考します)

### 8) 受講者発表予定日

2020年5月20日(水)に合否に関わらず Eメールにて通知します

(受講申込書に必ずパソコンからの受信可能なEメールアドレスを記載ください)

#### 【お問い合わせ先】

社会福祉総合研修センター

電話：052-242-3069（平日：10時～17時）／Eメール：ckjimu@ml.n-fukushi.ac.jp

## ■講師紹介

◇担当教員

### 山本 敏郎 (やまもと としろう)

日本福祉大学 教育・心理学部\* 学部長 教授 \*2020年4月学部名称変更

【研究分野】

教育学

【主な研究内容】

生活指導の原理と方法、学びにおける当事者性と応答性、  
自治とアソシエーション



### 鈴木 庸裕 (すずき のぶひろ)

日本福祉大学 教育・心理学部\* 教授 \*2020年4月学部名称変更

【研究分野】

学校福祉論

【主な研究内容】

学校教育をめぐる多職種連携学習の試行、  
いじめ・自殺の防止対策について  
学校ソーシャルワークがめざす学校づくり など

### 野尻 紀恵 (のじり きえ)

日本福祉大学 社会福祉学部 教授

【研究分野】

社会福祉学, 教育福祉, 福祉教育, スクールソーシャルワーク

【主な研究内容】

教育福祉の方法としてのスクールソーシャルワーク、子どもの貧困  
を支援するスクールソーシャルワークの介入プログラム構築と  
その評価 など



### 瀬地山 葉矢 (せちやま はや)

日本福祉大学 教育・心理学部\* 准教授 \*2020年4月学部名称変更

【研究分野】

臨床心理学

【主な研究内容】

親子の関係性の相互過程に関する研究、  
心理臨床における多職種との連携と協働 -つなぎ手としての心理士をめざして- など

◇登壇講師一覧（講師都合等で変更になる場合があります）

登壇日	講師名	所属など
5/30 他	鈴木 庸裕 (すずき のぶひろ)	日本福祉大学 社会福祉学部 教授
5/30	高橋 正教 (たかはし まさのり)	元 至学館大学 健康科学部 教授
5/30	遠藤 由美 (えんどう ゆみ)	日本福祉大学 教育・心理学部* 教授
6/20	丹下 加代子 (たんげ かよこ)	東海市適応指導教室
6/20 他	藤井 啓之 (ふじい ひろゆき)	日本福祉大学 経済学部 教授
6/20 他	山本 敏郎 (やまもと としろう)	日本福祉大学 教育・心理学部* 教授
7/4	湯原 悦子 (ゆはら えつこ)	日本福祉大学 社会福祉学部 教授
7/4	小林 洋司 (こばやし ようじ)	日本福祉大学 社会福祉学部 准教授
7/18	鷲見 聡 (すみ さとし)	日本福祉大学 教育・心理学部* 教授
7/18	堀 美和子 (ほり みわこ)	日本福祉大学 教育・心理学部* 准教授
7/25	伊藤 シゲ子 (いとう しげこ)	日本福祉大学 教育・心理学部* 教授
7/25	板垣 賢二 (いたがき けんじ)	日本福祉大学 教育・心理学部* 教授
7/25	大宮 とも子 (おおみや ともこ)	日本福祉大学 スポーツ科学部 准教授
9/5	瀬地山 葉矢 (せちやま はや)	日本福祉大学 教育・心理学部* 准教授
9/5	杉原 里子 (すぎはら さとこ)	春日井市教育委員会スクールソーシャルワーカー 愛知県高等学校教育課スクールソーシャルワーカー
9/5	藤井 博之 (ふじい ひろゆき)	日本福祉大学 社会福祉学部 教授
9/19 他	野尻 紀恵 (のじり きえ)	日本福祉大学 社会福祉学部 教授
9/19 他	沖田 昌紀 (おきた まさき?)	一宮市教育委員会スクールソーシャルワーカー
10/10	鎌倉 博 (かまくら ひろし)	名古屋芸術大学 人間発達学部子ども発達学科 准教授
10/31	望月 彰 (もちづき あきら)	名古屋経済大学 人間生活科学部教育保育学科 教授

※日付に「他」記載の講師：複数回登壇予定

\*2020年4月学部名称変更（予定）